

開催月日 : 令和5年9月29日(木)

第1回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護・医療連携推進会議 議事録

司 会	荻 浩輝	書 記	荻 浩輝
2023年度第1回介護医療連携推進会議が千代田ステーション研修室にて14:30より開催された。			
構成員及び事業所の代表者より自己紹介を行う。			
1. 運営状況報告			
資料をもとに2023年3月から2023年9月までの運営状況報告を行う。女性比が高い傾向にあり、稼働件数は減少、新規依頼も訪問介護に比べ少ないため認知度も低いのではと思われる。コール件数や出勤件数、夜間出勤件数についての分析。転倒や誤報によるコールが大半を占めている。			
2. 事例紹介			
定期巡回サービスが機能した例として別紙のとおり事例紹介を行う。以下の意見あり。			
・アセスメント看護師と、医療で介入している看護師の区別がつきにくく家族も混乱しやすいので事前の説明が必要である。必要なサービスや課題の抽出などしっかりとアセスメントをとることが非常に重要。アセスメントに応じて家族も含め各サービス間の役割を行うことで満足度や在宅サービスが続けられることにつながる。			
3. 新規の依頼について			
多い内容としては、普段より日常生活の世話を行うものがあるが、服薬や排泄介助など短時間での一部支援が必要な方である。千代田区は在宅支援の施策サービスが充実しており終末期や施設待機前の手厚いケアが必要な方は訪問介護と組み合わせる滞在型にサービスに移行するケースが多い。依然として定期巡回サービスは生活パターンの把握や柔軟な対応ができることから、退院後には非常に有効なサービスであると考え。千代田区に住所があり、他区の老人保健施設や病院から退所する方など定期巡回の活用を勧められるのではないかと。他区の医療関係事業所にも周知活動を行い認知を深めてゆく。			
4. ご意見など			
・ 今後はPD(パーキンソン病)も増えていくと言われているので、1日複数回の定期的な服薬など行う方の場合定期巡回サービスのニーズが高いと思われる。			
・ 移乗の介助を複数回行う必要性の方がいるが導入を検討したいと思う。週3回デイサービスを利用されているので超過が出てしまうので調整が必要である。			
・ 定期巡回含め、地域の在宅サービスにおける最後の選択肢として今後も頼りにしています。			
・ 包括からの照会で導入に至るケースも多く、今後もサービスに適した利用者がいれば紹介できればと思う。			
・ 社会福祉協議会は基本月一回の訪問なので気が付いたことなどあれば共有したい。			
次回、2023年度第2回の介護医療連携推進会議の開催は2024年3月頃を予定しております。			
詳細が決まりましたら各構成員の方々にご連絡をさせていただきます。			
本日はありがとうございました。			